

Y K G

Yutaka Kikutake Gallery

6-6-9 2F Roppongi, Minato-ku, Tokyo 106-0032, Japan  
Tel: +81 (0)3 6447 0500 Mail: info@ykgallery.com  
www.ykgallery.com

*kisho mukaiyama*

*mellow touch*

*at akiyama gallery*  
*march 17 (mon) – 29 (sat) 1997*  
*12:00–19:00 (final day –17:00)*  
*opening party: 17 (mon) 17:00–*  
*closed on sunday (open on march 20)*

4-1-12 honcho nihonbashi chuoh-ku tokyo 103  
tel. 03.3241.1616 fax. 03.3241.2837

photo: tadasu yamamoto

向山喜章展 mellow touch

1997年3月17日(月)～3月29日(土)

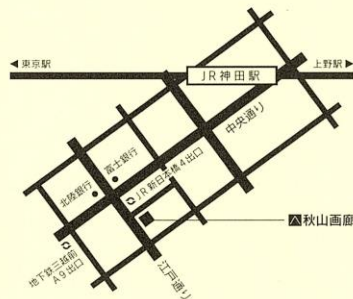
12:00 - 19:00 (最終日 17:00まで、日曜休廊/20日(祝日)開廊)

オープニング・パーティ: 3月17日(月) 17:00～

秋山画廊

〒103 東京都中央区日本橋本町 4-1-12

tel.03.3241.1616 fax.03.3241.2837



独習スルたましいからの流出 エン・ソープ ————— 美術評論家 鷹見明彦

二十代前半の個展に行きあってから、この5年あまりの向山喜章の成長を見守る眼に映るのは、あらかじめ内部に止みたい表現欲求を抱えた存在と必然の促しのままに初めからの確にそれを表しえた(その意味ではじめから完成された)才能——独り自ずから学ぶ生来的な表現者の歩みである。マルコレエテ、ヌイフ、ナビタール・・・独特な言霊に名づけられた向山の作品のそばに立つと、モノが即ちコトであり、時が即ち場であり、瞬きが即ち永遠を含んでいた初源の時空から響きつづけているこだまが聴こえてくる。聴覚的な周波数とは別な回路を透して。天与の工人は、イメージや造形といった地上的な目的性とは初めから無縁に、ひたすら全てが距離や対立を知らずに融けあっていたカオスのイノセンスを求めている。知覚も機能を分化せずに五感がトータルに世界自身を味わえた世界。その受肉のメデュウムとなるワックス、石膏、コンクリート——流体から凝固へ変成する瞬間に、睡りから醒めようとする瀬戸際の意識が夢をつよく追憶するように、溶融から流れ出そうとする世界の耀きが封印される。この世の涯での光にさらされた極北ラップランドとスカンジナビアの森への旅、いつか定められていた場所との巡りあいをおして、封印された白日夢はやがて内部に潜行する陽の温もりを静かに深め、熟そうとしている。始源の一者からの流出を伝える者の熱意を募らせて。

Kisho Mwkaiyama, 『mellow touch』, Akiyama Gallery, 17-29 March, 1997